

1 学校教育目標

- 「きたえ やりぬき まなびあう」 ～ 自律と共同の学校づくりを通して ～
 「自律」とは、誠実な心の声に従って行動しようとする事。（個人の力）
 「共同」とは、他と協力して目的を達成しようとする事。（チームの力）
 （「自律と共同」・・・自分磨きをし、周りと協力する姿を「いしがき」に例えている。）

2 目指す学校像・生徒像・教師像

- 学校像：確かな学力、豊かな心、健やかな体を習得できる学校
- 生徒像：自他を愛し、郷土を愛し、学び続ける生徒
- 教師像：生徒を愛し、情熱と使命感に溢れ、支え合う教師

3 重点指導目標

- ①「基本的生活習慣」の定着 … 落ち着きのある学校生活
- ②「豊かな心」の育成 … 思いやりのある風土づくり
- ③「生徒（会）活動」の充実 … 活気に満ちた活動
- ④「確かな学力」の定着 … 自ら学び続ける生徒の育成
- ⑤「組織力」の強化 … 「いしがき」をイメージした組織づくり

4 重点目標の具体化

- ①「基本的生活習慣」の定着 … 落ち着きのある学校生活
 - ・「凡事徹底」、当たり前のことを当たり前に行える指導。
 - ・生徒指導部会・協議会の充実。生徒指導における共通理解と共通実践。
 - ・「厳しく、そして温かく」「怒る」のではなく「叱る」指導。
 - ・開発的生徒指導の推進。「出番・役割→承認→成長」の実践。
 - ・「報告・連絡・相談」（ほう・れん・そう）による情報の共有化と素早い対応。
 - ・「すみそあじ」（すっきり整頓・身だしなみ・掃除・あいさつ・時間）の徹底。生徒会活動との連携。
 - ・地域と連携した部活動の推進。
- ②「豊かな心」の育成 … 思いやりのある風土づくり
 - ・自分のよさを発揮し、互いのよさを認め、共に高め合う教育活動。
 - ・心の教育の推進。自他の命を尊重する教育活動。「命」と「性」と「いじめ対策」への取組。
 - ・グローバル社会に対応できる人材の育成。文化や価値観の違いを受け止め、社会を支える人材育成。
 - ・不登校生徒対応の強化。教育相談部会の充実、加配教員の有効活用、関係機関との連携。
 - ・特別支援教育の推進。全職員による共通理解と支援体制の確立。個に応じたきめ細かな指導の推進。
 - ・道徳教育の推進。確実な実施と指導方法の工夫改善。
 - ・ふるさと基山を誇りに思う心の育成。
- ③「生徒（会）活動」の充実 … 活気に満ちた活動
 - ・教育活動の一環としての生徒（会）活動。
 - ・生徒の出番が多い生徒（会）活動。生徒は自分の出番で育つ。
 - ・「企画力」「運営力」を身につけさせる生徒（会）活動。
- ④「確かな学力」の定着 … 自ら学び続ける生徒の育成
 - ・基礎基本の定着と学習習慣・規律の確立。
 - ・一人一台端末の有効活用。
 - ・授業研究会の充実と教師の指導力の向上。
 - ・家庭との連携を密にした学習習慣の確立。
 - ・補充学習を活用した基礎学力の定着。
- ⑤「組織力」の強化 … 「いしがき」をイメージした組織づくり
 - ・自己目標申告書を活用し、個々の力を組織の力として機能する組織づくり。
 - ・開かれた学校づくりの推進。授業参観や保護者会・PTA活動、さらに学校運営協議会（コミュニティスクール）や学校評価等を有効活用した家庭・地域との連携強化。
 - ・小中連携の取組を基盤にした9カ年スパンの教育実践。
 - ・働き方改革を意識した業務の効率化。